

所在地：滋賀県米原市 選定年月日：平成26年3月18日 面積：2,365.5ha 選定基準：二(一)(五)(七)(八)

(1) 概要

東草野地域は、滋賀県の北東部に位置する伊吹(いぶき)山地の西麓に所在し、姉川(あねがわ)上流の谷部に形成された山村です。峠を介して隣接する岐阜県旧坂内村や滋賀県旧浅井町等との流通・往来が古くから盛んであったことが、地域内の石造物・建築様式・信仰形態などに表れています。

当地は西日本屈指の豪雪地であり、冬季には集落内でも約3mに達する積雪となります。そのため、民家には積雪時に入口機能を確保するための空間であるカイダレや、敷地内にはイケ、集落内の用水にはカワトが設けられ消雪に用いられるなど、豪雪に対応した生活の様子が見られます。

当地の基本的な生業は農業ですが、甲津原(こうづはら)の麻織、曲谷(まがたに)の石臼、甲賀(こうか)の竹刀など、冬季を中心とした特徴的な副業が集落ごとに発達しました。また、峠道が交差する吉槻(よしつき)は南北および東西の交通路の結節点であり、行政施設・商店等が集積する中心地として機能してきました。

このように、東草野の山村景観は、滋賀県北東部の姉川上流において、峠を介した流通・往来によって発達した景観地で、カイダレなど独特の設備を備えた民家形態や、集落ごとに発達した副業など、豪雪に対応した生活・生業によって形成された文化的景観です。



姉川最上流部に位置する甲津原集落



「雪掘り野菜」の収穫イベント

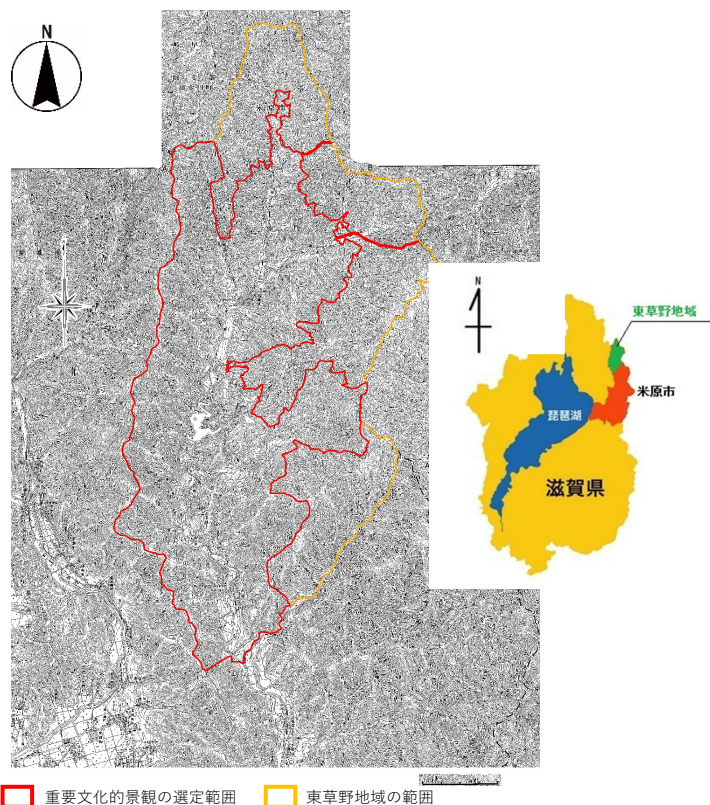


積雪に備えた広い軒下空間 (カイダレ)



石臼の未成品を用いた階段

（２）選定範囲



- ・ 重要な構成要素：43件
- ・ 国指定等文化財：奥伊吹ふるさと伝承館（国登録有形文化財（建造物））
- ・ 県指定：東草野の竹刀製造用具及び製品（有形民俗文化財）、頭教踊り（県選択無形民俗文化財）、
- ・ 市指定 能面10面（有形文化財）、石造板碑3基（有形文化財）、曲谷の石工道具（有形民俗文化財）

（３）選定による効果

少子高齢化、過疎化が進み、西日本屈指の豪雪地帯であることから、集落を維持することが大きな課題となっています。選定以前から、地域まちづくり団体による活動が進められていましたが、選定されたことによる新たな価値付けがなされ、市外からの移住・定住者の促進に向けた更なる取り組みが進められています。また、文化的景観の調査で明らかとなった生業のうち、竹刀の製造用具とその製品が令和3年に滋賀県指定有形民俗文化財に指定されたほか、平成27年に休校となった東草野小中学校を新たな地域の拠点として、行政サービスセンターと診療所を整備する際に、文化的景観のガイダンススペースとして、「東草野山村博物館」を令和4年7月に開館しました。



滋賀県指定有形民俗文化財
「東草野の竹刀製造用具及び製品」



東草野山村博物館

（４）保存活用計画などの基礎情報

- ・ 米原市東草野の山村景観保存活用事業報告書（平成25年3月、米原市）
- ・ 重要文化的景観 米原市東草野の山村景観整備活用計画書（令和3年3月、米原市）
- ・ ホームページ <https://www.city.maibara.lg.jp/soshiki/kyoiku/rekishi/shokai/higashikusano/2844.html>

(5) 活用事例

事例25-04 ①

空き家となった古民家の宿泊施設などへの活用

●行政と住民等の協働による取り組み

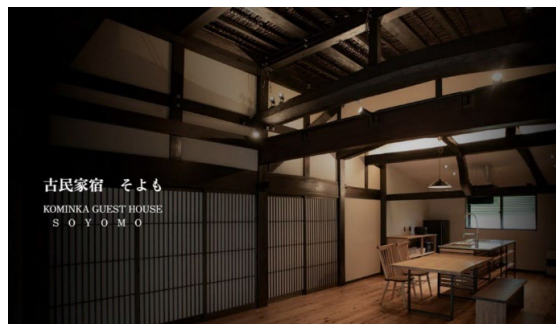
米原市は、特定空家等の発生を抑制するとともに、移住定住の促進と地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、平成30年に（一社）古民家再生協会滋賀と連携協定を締結しました。この協定に基づく取り組みの一環として、協会や地元団体とともに「びわ湖の素・米原 古民家暮らし協議会」を発足させ、空家・古民家活用した地域活性化策として、令和2年1月から農泊推進事業を進めています。

この事業の一環として、東草野の甲津原集落で空家バンクに登録された物件を活用し、宿泊施設への改装が図られ、令和2年8月に「古民家宿 そよも」として開業しました。

宿名の「そよも」は、古民家が元々呼ばれていた屋号に由来しており、宿泊施設としての利用のほか、体験型観光の拠点など、空家を活用した地域活性化の取り組みが進められています。

古民家改修を担当された方の声

宿泊施設として新たにスタートを切ること、体験型観光の拠点となるほか、建物の管理という仕事が生れます。それによりこの地域で働きたい、住みたいという人が増えることも期待しています。（『広報まいばら』令和2年8月号より）



古民家宿 そよも（ホームページより）



古民家宿 そよも 外観



古民家宿 そよも
（『広報まいばら』（令和2年8月号）表紙）

団体等情報：（一般社団法人）古民家再生協会滋賀 <https://www.kominka-shiga.com/>
古民家宿 そよも <https://www.soyomo.net>

① 地域内での
魅力の共有

② 活性化の
目標の共有

③ 地域外への
広報

④ 魅力を引き
出す開発

⑤ 財源の
確保と運用

⑥ 人づくり

(5) 活用事例

事例25-04 ②

東草野スタイル「自伐型林業+」への挑戦

●住民や団体等による取り組み

自伐型林業とは、採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営です。米原市では、管理がされず荒廃した山林や、獣害等が発生しています。この状況を打開し、山里に仕事と移住機会を創出するため、東草野のまちづくり団体である東草野まちづくり懇話会と市の協働事業として、総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、平成29年度から令和2年度までの任期で委嘱を受けた「自伐型林業みらいづくり隊」の3人の隊員がまちづくり活動に取り組みました。

隊員たちは、森づくりに関する技術を習得し、里山の持続可能な地域経営の実現に向けた取り組みを進めています。この結果として、里山を守りながら生かす取り組みの実現可能性が実証されるとともに、自伐型林業みらいづくり隊のメンバーを中心に「びわ湖のもりびと」が結成されたことで、協働事業終了後の継続的な活動が行われるという効果が得られました。

みらいづくり隊員の声

みらいづくり隊として、仲間と学びながら森林や作業道の整備を無事進められ、今後の整備・利用に向けた土台をつくることができました。（『広報まいばら』令和2年3月号より）



「水源の里まいばら 自伐型林業みらいづくり隊」の活動（『広報まいばら 令和2年3月号より）

団体等情報： 東草野まちづくり懇話会 <https://okuibuki.wixsite.com/higashikusano>
びわ湖のもりびと <https://note.com/tsukurumiraiten/n/n4fe0d3112050>